

News Release

報道関係者各位

平成 30 年 6 月 1 日

「拉致問題から見るモラルの普遍性」について考えてほしい

～西岡先生から学ぶ新たなグローバル視点～

平成 30 年 6 月 7 日（木） 麗澤大学校舎「かえで」1603 教室

麗澤大学(千葉県柏市/学長：中山理)道徳科学教育センター主催で「拉致問題から見るモラルの普遍性」について同センターの客員教授である西岡力先生が学生に向け講演を行います。

西岡先生は 2016 年に同センターの客員教授として韓国の道徳・社会の研究を深めるため就任しました。今回は拉致問題を通じて、モラルの普遍性は成立するかどうかという道徳哲学上の主要問題について、学生にも考えてもらいたいという思いから実現した講演会です。グローバル化が進む中、大学教育においても重要な視点を養う貴重な機会と捉えています。テーマを「拉致問題から見るモラルの普遍性」とし、子供を拉致された家族の思いや傷は万国共通であるということをもとに具体的な例を元に講演いただく予定です。講演後には学生同士でテーマに沿って考えをディスカッションしてもらい、レポートにまとめる予定です。

道徳科学教育センターは今後もこのような講演等を通じ、モラルについて様々な視点から考える機会を備え、道徳教育の推進に貢献していきたいと考えております

◆西岡先生特別講演について

テーマ：「拉致問題から見るモラルの普遍性」

日時：平成 30 年 6 月 7 日（木）13：10～14：40

場所：麗澤大学校舎「かえで」1603 教室 (<http://www.reitaku-u.ac.jp/about/access.html>)



【西岡 力 (にしおか つとむ) 客員教授について】

東京都出身。国際基督教大学卒業、筑波大学大学院修了。外務省専門調査員として在韓国日本大使館勤務、月刊『現代コリア』編集長、東京基督教大学教授を歴任。現在、「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会(救う会)」会長。2016 年度より麗澤大学道徳科学教育センター客員教授に就任。

【麗澤大学道徳科学教育センターとは】

本学の建学の精神の根幹を成す道徳科学（モラロジー）に関する教育及び研究を行い、広く社会の道徳教育の推進に資することを目的に、開学 50 周年記念事業の一環として、平成 20 年 4 月 1 日に開設されました。海外の大学と学術提携を結び、共同研究を進めています。

海外提携大学：ミズーリ大学 品性・市民性センター、バーミンガム大学 品性・価値ジュビリー・センター、ボストン大学教育学部 品性・社会責任センター、ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和 10 年、創立者の廣池千九郎（法学博士）が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス（千葉県柏市光ヶ丘）に開塾したことから始まります。心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、今では大学・高校・中学・幼稚園を開設しています。また留学生の受け入れも積極的に行っており、キャンパスには世界約 30 の国・地域から留学生が集まり、さまざまな言語が飛び交っています。

【本件に関するお問合せ先】

麗澤大学 URL: <http://www.reitaku-u.ac.jp/> 〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

入試広報グループ担当：川原（かわはら）

Email: pr@reitaku-u.ac.jp TEL: 04-7173-3030 FAX: 04-7173-3585